



**長野自動車道筑北  
スマートインターチェンジ  
完成に寄せて**

筑北村長 太田 守彦

このたび、長野自動車道筑北スマートインターチェンジ（以下、SIC）が、関係者をはじめ地域の皆様のご理解とご協力を賜り、供用開始となりました。

長野自動車道は、県の南北を結ぶ大動脈として平成5年に全線開通しました。

このうち、安曇野インターと麻績インターの区間（23.2km）は、県内でも最長区間であったため、平成17年に緊急車両専用の進入路を整備していただきました。その後、ETCカードの普及とともにSIC設置機運が高まり、要望活動を平成26年から進めてまいりました。

平成30年8月に国土交通大臣による連結許可から約5年4か月の歳月を費やした筑北SICは、ETC専用では県下初となる本線直結型で、ラウンドアバウトによる誤進入防止機能などの、最新技術が導入された「努力と英知の結晶」であります。

筑北村は旧3村が合併して20年を迎え、過疎化と高齢化が進む農山村ではありますが、SICの整備を契機として、さらなる村の活性化と住民福祉の向上に努めてまいります。

皆様には、村の新しい玄関口となる筑北SICのご利用をお願い申し上げます。



筑北村 西条地区  
区長 横山 充 様

**長野自動車道筑北スマートイン  
ターチェンジ完成に寄せて**

一昨年12月17日、待望の長野自動車道筑北スマートインターチェンジが開通し、地域住民も大変喜んでおります。特に坂北・本城地域では、松本方面が生活圏であることから、通勤や通院、買い物等がたいへん便利になりました。

本地域は、中山間地で過疎化が進んでいますが、今後、筑北スマートインターチェンジの利用が進むことで、さらなる活性化を大いに期待します。

本事業にご尽力いただきました皆様方に、深く感謝申し上げます。



**一般県道豊田中野線  
笠倉壁田橋の開通に寄せて**

中野市長 湯本 隆英

一般県道豊田中野線「笠倉壁田橋」の開通に当たり、御協力をいただきました地権者の皆様、また、これまで事業推進に多大な御尽力をいただきました長野県をはじめ関係の皆様、深く感謝申し上げます。

「笠倉壁田橋」の完成により一般県道豊田中野線が全線供用となり、千曲川に隔てられた中野地域と豊田地域との連携が飛躍的に向上するとともに、災害時の緊急道路として、さらには北陸新幹線飯山駅へのアクセス機能が強化された広域観光道路となるなど、本市の発展に大きく寄与するものと期待しております。



一般県道豊田中野線建設促進期成同盟会  
会長 原澤 年秋 様

**一般県道豊田中野線  
笠倉壁田橋の開通に寄せて**

一般県道豊田中野線は中野地域と豊田地域を結ぶ幹線道路として、また、本市の発展にとって必要不可欠な道路として「笠倉壁田橋」の早期完成を本同盟会では強く要望して参りました。

この度、「笠倉壁田橋」の開通にあたり、長年にわたり道路整備を促進いただきました長野県の皆様をはじめ、関係各位に改めて感謝申し上げます。

